

スポーツ庁地域スポーツクラブ体制整備事業

部活動地域展開・ 産官学連携フォーラム in Niigata 2025

日時 | 令和8年1月23日（金）10:15～16:30

会場 | 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

新潟県教育委員会

▶プログラム概要

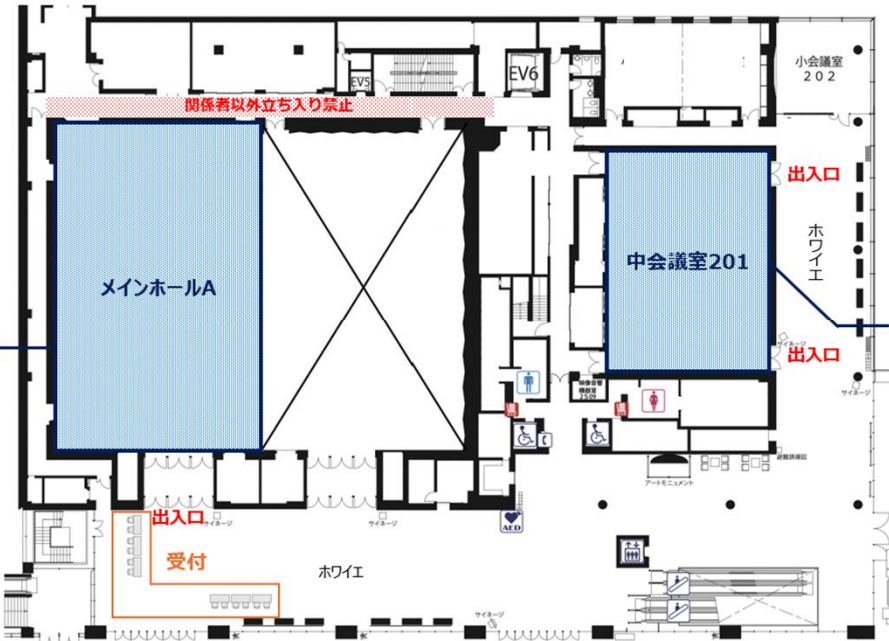
第一部 10:15～12:15 メインホールA	
10:15	開会挨拶 新潟県教育長 太田 勇二
10:20-10:30	スポーツ庁挨拶 スポーツ庁地域スポーツ課 地域スポーツクラブ活動推進係 専門職 沢田 佳史 様
10:35-11:25	「重点地域における政策課題への対応」成果報告 (1) 公益財団法人長岡市スポーツ協会 事務局次長 室賀 大樹 様 ・多様なスポーツ体験の機会の提供 ・体育・スポーツ系の大学生等を含むアスリート人材等の活用 ・運営の効率化のためのシステム整備 (2) 村上市教育委員会 総括コーディネーター 渡邊 優子 様 ・スクールバスの活用や地域公共交通との連携 ・不登校や障害のある子供たちの地域の学び場としての役割
11:25-11:35	休憩（10分）
11:35-11:55	(3) 新潟医療福祉大学 准教授 鶴瀬 亮一 様 村上市立山北中学校 教諭 当摩 天喜 様 ・動画コンテンツ等の活用（ICT活用による遠隔指導の実施）
11:55-12:10	質疑応答
12:10-12:15	スポーツ庁講評
12:15-13:15	休憩（60分）
第二部 13:15～17:00 メインホールA/中会議室201	
13:15	開会
13:15-14:10	パネルディスカッション メインホールA テーマ：小さな一歩からはじめる産官学連携 ～地域全体で子供たちのウェルビーイングを支えるために～ ファシリテーター 一般社団法人ブカツ・サポート・コンソーシアム 代表理事 石塚 大輔 氏 登壇者 新潟医療福祉大学副学長 西原 康行 氏 地域スポーツクラブ活動アドバイザー 石川 智雄 氏 地域スポーツクラブ活動アドバイザー 渡邊 優子 氏 地域スポーツクラブ活動アドバイザー 澁谷 健一 氏 新潟県教育庁保健体育課長 志田 哲也
14:10-14:30	マッチングフェア① メインホールA/中会議室201（20分）
14:30-15:20	出展企業・団体等によるPR発表①（7団体）メインホールA
15:20-15:40	マッチングフェア② メインホールA/中会議室201（20分）
15:40-16:30	出展企業・団体等によるPR発表②（7団体）メインホールA
16:30	閉会・アンケート回答

▶会場図

<会場図：全体>

2F：メインホールA
中会議室201
ホワイエ

フォーラム、PR発表会
マッチングフェア(一部)会場

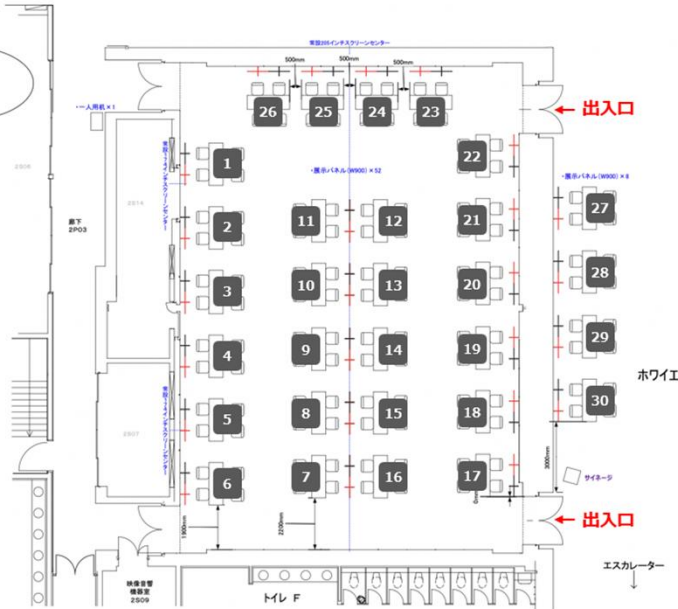


<会場図：中会議室201/ホワイエ>

2F：中会議室201/ホワイエ
L マッチングフェア

ブース形式
30ブース

*ブース番号 ①～③⑩



<各団体ブース番号>

中会議室201	中会議室201	中会議室201前 ホワイエ
1 アスフィール株式会社	15 株式会社和光ベンディング	27 スポーツデータバンク株式会社
2 一般社団法人NITTAIクラブ	16 株式会社日本トリム	28 一般社団法人ブカツ・サポート・コンソーシアム
3 公益財団法人スポーツ安全協会	17 新潟リハビリテーション大学	29 日本郵政株式会社
4 株式会社ユーフォリア	18 新潟スポーツ医・科学コンソーシアム	30 三井住友海上火災保険株式会社
5 PEOPLE HORIZON株式会社	19 新潟県健康づくり・スポーツ医学科学センター	
6 公益財団法人安藤スポーツ・文化振興財団	20 新潟県障害者スポーツ協会	
7 株式会社アーシャルデザイン プラスクラス・スポーツ・インキュベーション株式会社	21 泉観光バス株式会社	
8 株式会社hacomonon	22 放課後デザイン協会	
9 近畿日本ツーリスト株式会社	23 一般社団法人アスリートサポート新潟	
10 イマチャレ製作委員会（事務局：エデュシッパ株式会社）	24 胎内DEERS	
11 株式会社日本旅行	25 新潟アルビレックスBB	
12 株式会社アルベン	26 サトウ食品新潟アルビレックスRC	
13 株式会社Matchbox Technologies		
14 愛宕商事株式会社		
		メインホールA
		31 公益財団法人長岡市スポーツ協会
		32 新潟県魚沼市
		33 新潟県村上市
		34 スポーツ庁地域スポーツクラブ活動 アドバイザー事務局
		35 新潟県佐渡市
		36 学校法人新潟総合学園新潟医療福祉大学

【重点地域】 長岡市の取り組み

主催 新潟県教育庁
協力 一般社団法人バカツ・サポート・コンソーシアム

2026/1/23

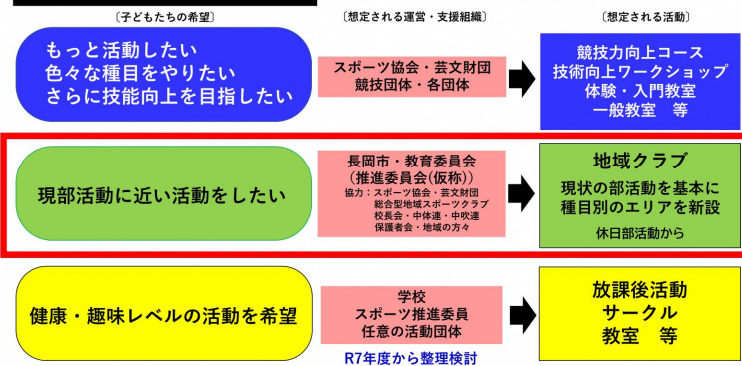
長岡市の部活動地域移行（地域展開）の状況

■基本情報（R7.5.1現在）
人口253,825人 面積891.05km²
中学校数27校 生徒数6,285人
部活動数：283（運動部229 文化部54）

■体制
運営形態：体育・スポーツ協会運営型
受け皿の状況：（公財）長岡市スポーツ協会が
運営と活動実施を担う。

【中学部活動地域展開に伴う改革ビジョン】

長岡市 全体構想



常設部活動数別中学校数（R6）

部活動数	スポーツ		文化	
	男子	女子	男子	女子
10部	2校	3校		
9部	1校	1校		
8部	1校		1校	1校
7部	1校	4校		
6部	2校	2校		
5部	4校	4校		
4部	3校	4校		
3部	7校	5校	8校	9校
2部	3校	2校	9校	7校
1部	3校	2校	9校	10校

長岡市の部活動地域移行（地域展開）の状況

イメージ

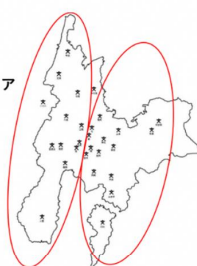
種目別エリア

部活動未設置種目校も
入れたエリアで考える

種目別エリア
（水泳）



種目別エリア
（陸上）



種目別エリア
（バスケボール）



種目別エリア
（サッカー）



中学生の「活動の場の確保」
を最優先に、なるべく身近な
場所で希望する活動に取り
組める環境整備が目標

種目別コーディネーター
の設置

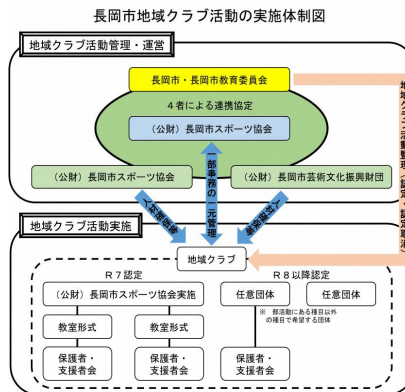
長岡市の部活動地域移行（地域展開）の状況

長岡市における地域クラブ活動の実施体制 ～基本理念の実現と参加者の安心・安全のためのガバナンス～



【4者協定の締結（令和6年7月）】
地域クラブ活動の実施体制の整備を進めるにあたり、長岡市、長岡市教育委員会、（公財）長岡市スポーツ協会及び（公財）長岡市芸術文化振興財団の4者の連携協力について「長岡市地域クラブ活動の推進に関する協定」を締結した。

長岡市地域クラブ活動の推進に関する協定締結式



○管理主体
・ 長岡市中学校部活動及び地域クラブ活動基本方針の地域クラブ活動の基本理念の実現のために、地域クラブ活動を監理する（地域クラブの認定と認定取り消し）
・ 参加者の安心・安全のため、指導人材を監理する（指導人材の認定と認定の取り消し、指定研修の実施）
・ 平日の部活動の地域移行に向けた検討と方針の決定を行う。
※ 監理のために地域クラブ活動推進協議会（仮設）、（第三者機関）の設置、種目別コーディネーター・サブコーディネーターの配置を行う。

○運営主体（民営）
・ 長岡市の要請を受け、地域クラブの運営に係る事務の一部（参加申込の受付、参加費の集金、後援の加入、指導報酬の支払い、連絡ツールの導入等）の一元管理を行う。

○支援団体（民営）
・ 長岡市の要請を受け、地域クラブ活動の指導人材（指導スタッフ、活動サポーター）の募集・育成等を行う。

○活動団体（地域クラブ（指導人材を含む。））（民営）
・ 地域クラブ活動を実施する（活動の計画、会場確保、出欠確認等）。

○長岡市中学校部活動及び地域クラブ活動基本方針
地域クラブ活動の基本理念（Ⅱ-11）
学校部活動が有している、生徒の自主性・自発性に基づく、異年齢との交流を通じた多様な学びの場としての教育的意義を継承し、発展させるものであり、中学生の心身の健全育成を至上の目的とする、中学生の望ましい成長に資する活動であること。

重点地域の取り組み

9

取り組み課題：⑥体育・スポーツ系の大学生、パラアスリート等を含むアスリート人材等の活用

重点地域事業の取り組み内容③【大学生指導人材の確保・活用】

【令和6・7年度版】
指導人材バンク

令和7年9月スタート
地域クラブの指導スタッフ募集しています!

中学生のスポーツ・文化芸術活動に皆さんの力を貸してください

【活動クラブとは】
令和7年度7月以降に開始予定の指導スタッフ募集です。終了に際し、助成金に充てられるものが提供されます。募集にたいしては、指導スタッフ募集要項に詳しく記載されています。ご不明な点がある場合は、事務局までお問い合わせください。

【活動内容】
1日限りのスポーツ活動又は文化芸術活動に携わる（単発又は継続）
※指導員資格の要件は要りません。

【募集要項】
スポーツ活動の指導スタッフは、こちらから
TEL:0258-34-2130
E-MAIL:info@hacomo.or.jp

文化芸術活動の指導スタッフは、こちらから
TEL:0258-26-7718
E-MAIL:info@hacomo-csf.or.jp

県内大学・専門学校に学生への地域クラブ活動の指導人材募集の周知の協力を要請し、令和7年4月から学内での募集周知や学生向けの説明会などを実施

- 長岡技術科学大学
- 長岡造形大学
- 長岡大学
- 新潟医療福祉大学
- 新潟大学
- 北陸学園

○募集区分

		(3時間程度)	(3時間を大幅超過)
指導スタッフ	有償	5,000円/回	8,000円/回
	ボランティア	—	—
活動サポーター	有償	3,000円/回	5,000円/回
	(※)		

※ 活動サポーターは、活動実施時に参加者の見守りなど指導スタッフを補助する者で、参加者の保護者や地域の協力者などを想定

重点地域の取り組み

10

取り組み課題：⑥体育・スポーツ系の大学生、パラアスリート等を含むアスリート人材等の活用

重点地域事業の取り組み内容④【技術向上スポーツ教室の開催】

【バレーボール教室】

実施日:令和7年8月23日(土)
会場:長岡市みしま体育館
主催:株式会社姫路ヴィクトリーナ
共催:長岡市バレーボール協会、(公財)長岡市スポーツ協会
講師:元日本代表 齋藤 信治 大友 愛
参加者:長岡市内中学校バレーボール部及び中学生クラブチーム選手
保護者、指導者 選手87名、保護者82名、指導者10名

【野球教室】

実施日:令和7年11月～令和8年1月 計4回
会場:ニュータウン運動公園多目的屋根付き広場
主催:(公財)長岡市スポーツ協会、長岡野球協議会
講師:オイシックス新潟アルビレックスBC 選手3名×2日(11/23、30)
新潟医療福祉大学野球部 学生4名×2日(11/16、12/13)
参加者:長岡市内中学野球部員30名、指導者10名

【バドミントン教室】

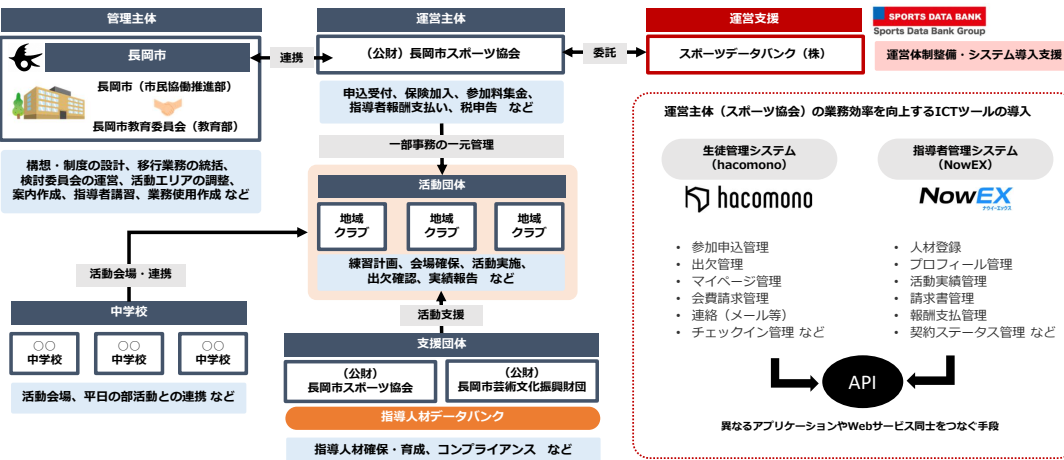
実施日:令和7年11月29日(土)
会場:長岡市市民体育館
主催:(公財)長岡市スポーツ協会、長岡バドミントン協会
講師:高橋 礼華さん(リオデジャネイロ五輪金メダリスト)
参加者:長岡市内バドミントンクラブ所属の小・中学生と指導者
小学生16名、中学生16名、指導者11名



重点地域の取り組み

11

取り組み課題：⑫運営の効率化のためのシステム整備



成果と課題

12

成果

- ながおかCome100クラブ活動の参加者アンケートの結果、満足度は「満足」「やや満足」が合わせて80% 満足の理由として「他校生徒との交流や多くの人数との活動がよい」「やりたい活動ができる」「専門的な指導が受けられる」が上位
- 競技団体などが主催する既存のスポーツ教室などのほか、新たに開催するスポーツ教室などのスポーツ資源を集約し、検索しやすい方式で公開・周知
- 決して多くはないが、大学生が指導人材データバンクに登録し、実際にながおかCome100クラブ活動で指導
- 技術向上教室等のアンケートの結果、満足度は「非常に満足」「満足」が合わせて80%以上 技術向上など、長岡市の全体構想上段のニーズが高いことを再認識
- システムの導入により、一元管理する事務の多く(参加者の申込受付や名簿管理、参加費の集金、指導人材との契約、指導実績の報告、指導報酬の請求、指導報酬の支払いなど)が自動化・効率化

課題・今後の展開など

- スポーツ活動を動機付けるための、スポーツ活動そのものの魅力を伝えていく普及啓発
なおかCome100クラブ活動の参加者アンケートにおける不参加の理由としては「ゆっくりしたい」「勉強や趣味に使いたい」「平日の部活動だけで満足している」といったものが多数
- 競技団体等と連携した教室等の拡充
上達志向の子ども向けの専門コースや強化クラス設置を促進し、レベルアップを目指す子どもを支援できる環境を強化
- 現部活動にない多様な種目の地域クラブ活動への追加
- 地域クラブ活動を核とした小学生世代等の環境整備
- 地域クラブ活動の安定的な運営に向けたさらなる指導人材の確保と指導人材の質の向上
大学との連携の強化や、アスリート人材の指導ノウハウの指導人材・地域指導者への普及など
- システムの機能の段階的な改修
連絡機能の不足や操作性・使い勝手が悪いといった部分があるが、システムの改善には時間がかかるため段階的に改修を進め、利用者にとってより使いやすいものを整備

重点地域

村上市の取組

- ・地域車両活用モデル
- ・障がい者の活動の場創出モデル

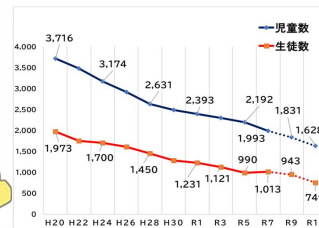
村上市教育委員会学校教育課未来の学校創造室
部活動地域展開総括コーディネーター 渡邊 優子

村上市の現状

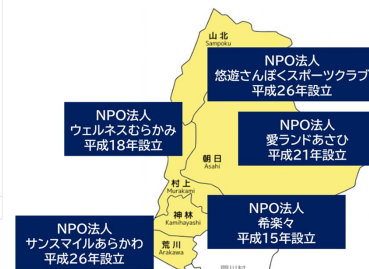
小中学校分布図



児童生徒人口推移と推計



総合型クラブマップ

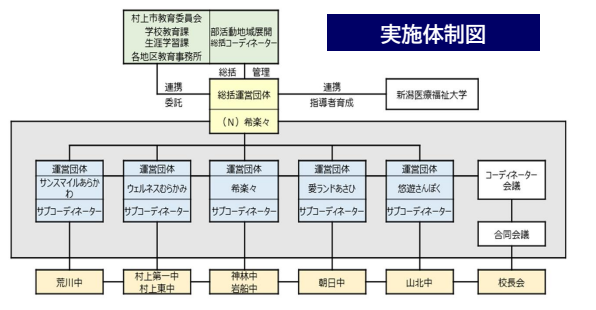


- 13の小学校と7つの中学校 特別支援学校1、中等教育学校1
- 生徒数は15年で半減、10年後はさらに半減と推測
- 5つの総合型クラブは行政とパートナーシップ

村上市の地域展開の現状

認定地域クラブ一覧 R7.9

№	種別	チーム名	運営母体	活動日	指導者(指導員数)	参加人数	
1	バドミントン	Shoguet	(N)専修大	水曜日	8(1)	45	
2		社団2554HMS (専修)	(N)25442554	水・金曜日	1	20	
3		社団2545 RC (専修)	(N)25442554	金曜日	2	14	
4		社団2545 RC (専修)	(N)25442554	水・金曜日	3	21	
5		Ashihara Sports (専修)	(N)専修2545	水・木・金曜日	4	13	
6		JC Paletta (専修)	(N)専修2545	水・金曜日	3	10	
7	バレーボール	社団2545 RC (専修)	(N)専修2545	水・金曜日	4(2)	18	
8		challenge2121(N)専修	(N)専修2545	水・木・金曜日	2(1)	16	
9		challenge2121(N)専修	(N)専修2545	水・木・金曜日	2(1)	7	
10		ARAKAMA VC	(N)25442554	木曜日	2	14	
11		Ashihara Sports VC	(N)専修2545	水・木・金曜日	3	10	
12		HOKUSHEI VC	(N)25442554	水・木・金曜日	3	21	
13	バレーボール	専修大	(N)専修大	水・木・金曜日	5(2)	21	
14		HOKUS	(N)専修大	水・金曜日	4(1)	9	
15		専修大バレーボールクラブ	(N)専修大専修大	金曜日	3(1)	13	
16		社団2545 RC	(N)25442554	土曜日	2(2)	12	
17		専修大	(N)専修大	水・木・金曜日	5(2)	14	
18		専修大	(N)25442554	水・木・金曜日	3	15	
19	卓球	専修大	(N)専修大	水・木・金曜日	6	4	
20		社団2545 RC	(N)25442554	水・木・金曜日	4	6	
21		専修大	(N)25442554	水・木・金曜日	2	2	
22		サカキ	社団2545 RC	(N)25442554	水・木・金曜日	5	28
23		専修大	社団2545 RC (N)専修大	(N)専修大	土曜日	18(1)	14
24		バドミントン	HOKUS VC	(N)25442554	水・木・金曜日	3(1)	26
25	専修大		(N)25442554	水・木・金曜日	8	22	

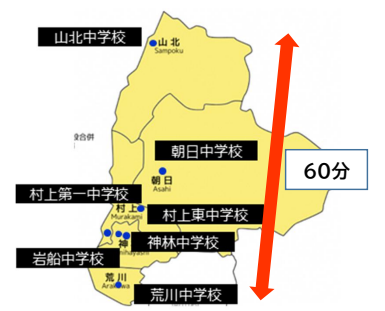


R8からのカタチ

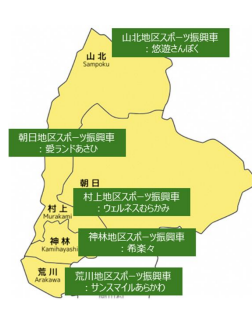
期間	活動名	活動日	改善前	改善実行(前期)	改善実行(後期)	将来像
運動部	学校部活動	平日	△	×	×	×
	地域クラブ活動	平日	○	○	○	○
	学校部活動	平日	○	×	×	×
文化部	学校部活動	平日	○	×	×	×
	地域クラブ活動	平日	○	○	○	○
アフタースクール活動	平日	△	○	○	○	地域活動

取組① 地域車両活用モデル

中学校分布図



スポーツ振興車配車マップ



スポーツ振興車規約一覧(抜粋)

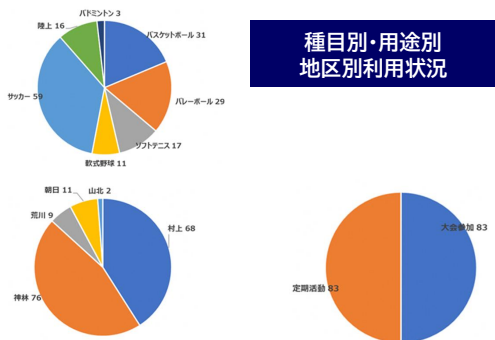
規定項目	村上地区	神林地区	荒川地区	朝日地区	山北地区
運行範囲	1日300km以内 30%を超える場合は乗車学校を移動の上で変更可能				
使用単位	①1台1日1回 ②2台1日1回 ③3台1日1回	①1台1日1回 ②2台1日1回 ③3台1日1回	①1台1日1回 ②2台1日1回 ③3台1日1回	①1台1日1回 ②2台1日1回 ③3台1日1回	①1台1日1回 ②2台1日1回 ③3台1日1回
管理運営費等	1日 8,000円	1日 8,000円 10,000円 10,000円	1日 8,000円 10,000円 10,000円	1日 8,000円 10,000円 10,000円	1日 8,000円 10,000円 10,000円
改定 R7~	村上市の総合型クラブは全地区のスポーツ振興車利用可能				

- 南北への移動は60分
- 鉄道、路線バス、まちなか循環バス等の公共交通は活用できない
- スポーツ振興車...平成28年から各地区に配車
- 市がリース料を負担し、総合型クラブが管理運営する車両

取組① 地域車両活用モデル

スポーツ振興車利用状況

種目	地区	目的	回数	走行距離	乗車人数
バスケットボール	村上	大会参加	4	430	76
	神林	大会参加	17	3,450	295
	荒川	大会参加	8	1,879	128
	山北	大会参加	2	489	33
	朝日	大会参加	2	246	27
バレーボール	村上	大会参加	2	192	42
	神林	大会参加	20	1,970	410
		定期活動	4	40	100
	荒川	大会参加	1	94	15
	朝日	大会参加	2	246	27
ソフトテニス	全	大会参加	17	3,580	241
軟式野球	神林	大会参加	2	200	24
		朝日	大会参加	5	709
	朝日	定期活動	4	627	84
陸上	全	定期活動	16	660	184
バドミントン	村上	大会参加	3	419	59



前身①

平成17年～23年

平成24年～28年

平成29年～現在

女子バスケサークル

新しいカタチの部活動

融合型部活動



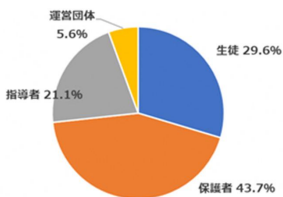
- ・子どもが困っていた
- ・部活動にない種目
- ・中学生でもできる空間
- ・総合型クラブ事業
- ・サークル活動
- ・学校は無関係

- ・やりたい生徒&新設懇願の保護者&できない学校
- ・これからのカタチを構想
- ・部活動に準ずる活動
- ・総合型クラブ管理下
- ・多世代交流で社会性学ぶ

- ・学校が関与する地域の活動
- ・運営団体と実施主体
- ・融合型部活動運営協議会設置
- ・指導者の質・量の管理
- ・認定クラブ25活動
- ・平日及び休日の活動

取組① 地域車両活用モデル

検証結果



参加者の声

- ・友達と一緒に楽しい
- ・緊張している時、少し気持ちが楽になる
- ・送迎する人がいない時、便利

指導者の声

- ・広育的な移動が可能となり、子どもの活動を保障できる
- ・大会や練習試合などみんなで行動できる
- ・保護者の送迎ができない時でも練習に参加できる
- ・運転手の確保

保護者の声

- ・保護者の負担が減る(多数)
- ・挨拶や対人関係、上下関係が学べる
- ・他校の生徒と友達になれる
- ・みんなと一緒に団結できる
- ・生徒同士のコミュニケーション力や社会性の向上
- ・送迎者がいない時の、参加しやすい環境づくり
- ・行きたいチームを選べる
- ・チームワークや協調性につながる
- ・大人数で一緒に行動できる

運営団体

- ・運営費の検討、責任の所在、ルールの見直しでより利用しやすい環境整備
- ・利用マナーの徹底
- ・運転手を見つけるのが大変
- ・利用がぶつかった時に車両の手配ができない

取組① 地域車両活用モデル

成果



教育長のコメント

広い市域で、少子化に伴い、活動場所が拠点化されつつある状況下、生徒が希望する活動に主体的に参加できる環境を整備することは大きな課題の1つである。
 スポーツ振興車の活用は活動時間の保障、安心・安全な移動、保護者負担の軽減等に大いに寄与するものと考えます。
 スポーツ振興車の更なる活用に期待します。

課題と展望

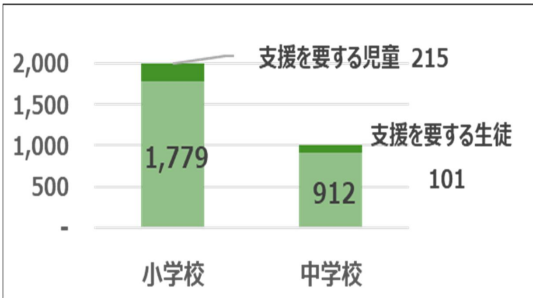
- 人口減少や広大な市域について、部活動の地域展開という視点ではなく、子どもたちの“足”についてより深く考えていくこと
- 「スポーツ振興車」という恵まれた環境をどう活かすかどう考え、動かすか

ロードマップ

令和7年	令和8年	令和9年
「スポーツ振興車」の活用	市全体での有効活用	
「スポーツ振興車」の規約の統一化	市全体で考える移動	
	中型車の車両検討 受益者負担の検討	

取組② 障がい者の活動の場創出モデル

支援を要する児童生徒数の現状



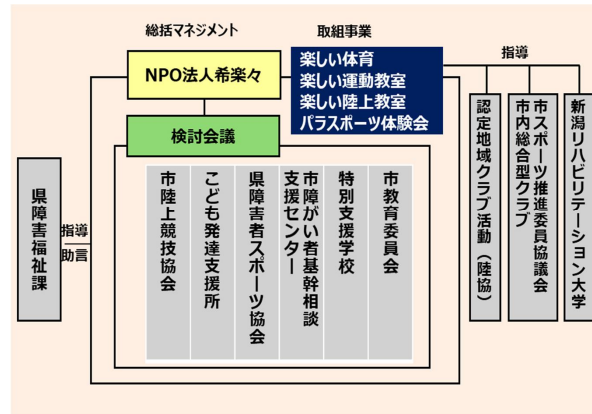
○人口減少が加速する中、支援を要する児童生徒数は増加 全体の1割
 ○市内総合型クラブでは障がいの有無は拒まないが、障がい者(児)の参加は少ない

総合型クラブの受入状況

クラブ名	障がい者の取組参加状況
希楽々	・定期活動の楽しい陸上教室、歌広場に参加 ・イベント「ポッチャ大会」に参加 ・特支放課後「きららタイム」@20名 年5~6回
ウェルネス	・ヨガ教室や健康づくり教室等に参加している
サンスマイル	なし
愛ランド	なし
悠遊さんぼく	・イベント「ポッチャ大会」に障がい者が参加

取組② 障がい者の活動の場創出モデル

実施体制図



福祉分野との連携事例

○放課後等デイサービス事業所と連携するため、市障がい者基幹相談センターに相談
 ○放課後等デイサービス事業所の業務(保険対応)について県障害福祉課に相談
 ○放課後等デイサービス事業所や特別支援学校へのヒアリング

取組② 障がい者の活動の場創出モデル

楽しい体育

事業名	活動機会	人数	種目	実施日	備考
特別支援学校「楽しい体育」	小学部	38	ダンス・水遊び	1~3学期	14回
	中学部	27	水泳・ダンス	1~2学期	9回
	高等部	36	パラスポーツ	1~3学期	8回



楽しい運動教室

事業名	放デイ等事業所	人数@回	種目	実施日	備考
楽しい運動教室	はる	40	パラスポーツ サーキット 他	長期休暇 7月・8月	4回
	カレイド	15			5回
	おひさま	10			5回
	カナリア	10			4回



○「楽しい体育」は子どもたちに運動の楽しさを啓発すること、子どもたちとコミュニケーションを図ることから
 ○「楽しい運動教室」は市内4つの放課後等デイサービス事業所の要望で長期休暇時に実施、無償で送迎も実施

取組② 障がい者の活動の場創出モデル

楽しい陸上教室

事業名	活動機会	延人数	種目	実施日	備考
楽しい陸上教室	特支中・高	21	陸上	通年※土曜日	48回



パラスポーツ体験会

事業名	活動機会	延人数	備考
パラスポーツ体験会	スポーツマーケット	1,000	11/2
	アフタースクール	17	パラスポーツ 11/26
	学童保育所	70	1/20



○「楽しい陸上教室」は認定地域クラブ活動「MaAC」との合同活動
 ○個別指導と健常児との合同練習までインクルーシブな活動
 ○特別支援学校高等部を卒業したT君が継続参加
 ○「パラスポーツ体験会」は希楽々が主催するイベントや教室、学童保育所の子どもたちが体験 障がいに対する理解促進

前身②

平成27年度 平成28年度 令和2年度～ 令和3年度 令和6年度

学ぶ

特支授業指導

放課後活動始動

多世代ポッチャ

重点施策



- ・市福祉計画の未実施
- ・障がい者スポーツ座学
- ・公認資格取得

- ・特別支援学校授業指導
- ・特別支援学級交流会指導

- ・障がい者の放課後が課題
- ・特支寄宿生を対象に「きららタイム」
- ・定期的な活動

- ・特に「ポッチャ」の普及
- ・多世代
- ・タミでポッチャ
- ・高齢者が自主活動
- ・大会にも参加

- ・障がい者のスポーツ機会の創出
- ・楽しい運動教室等
- ・放課後等デイサービス事業所
- ・パラスリート体験会
- ・運動の楽しさ啓発

取組② 障がい者の活動の場創出モデル

検証結果

第1回検討会議

- R6事業報告について
- R6事業で、は横のつながりの重要性を感じた
- 最初は指導に不安があったが、実施する中で解消した
- R7事業計画について
- 生涯学習につながる事が目的
- 広報活動をするとともに、保護者の理解も必要



楽しい体育

- 新鮮で普段できないことを取り上げてもらって良かった(特支教員)
- ポッチャはいきなりゲームではなくお手玉や積み木で遊び貴重な体験ができた(スポーツ推進委員)

楽しい陸上教室

- 自ら指導者や生徒に挨拶を話し合っていた(指導者)
- できなかった動きづくりを話を聞き、理解し行動(同上)
- 他の生徒と交流ができてよかった(参加者)
- 続けていきたい(同上)

楽しい運動教室

- 活動に幅があり、普段できない運動遊びができた(放デイ職員)
- 冷房や広さなど柔らかい環境で活動ができた(同上)
- 子どもたちと直接触れ合うことができた(スポーツ推進委員)

パラスポーツ体験会

- 本来アトラクショナルな楽しみをするものではないが、この体験をきっかけに車椅子を使用している方への敷居が下がると嬉しい(指導者)
- 障がい者当事者が参加できる仕組みづくり(県障害者スポーツ協会職員)

取組② 障がい者の活動の場創出モデル

成果



特別支援学校長のコメント

当校は主に知的障害がある子どもたちが通う学校です。1人1人の教育的なニーズに違いがあります。

子どもたちの豊かな発想や興味・関心は尽きることがなく、通常教育の子どもたちと何らかわりません。運動を窓口地域社会とのつながりを想定した取組を実施したことは社会参加への基礎固めを促すことになったと考えています。

課題と展望

- 障がい者の立場に立って考えること
- 同じことの繰り返しと少しずつ進化していくこと
- 多様な組織や人との融合
- 不安を感じず地域の活動に参加できること

ロードマップ

令和7年	令和8年	令和9月
	「楽しい運動教室」の実施 「楽しい陸上教室」の実施 「楽しい体育」の実施 「パラスポーツ体験会」の実施	
		個人参加の啓発 実施体制の整備

村上市のR8からのカタチ

令和8年度

令和10年度

近い将来

すぐ先のカタチ

少しだけ先のカタチ

目指すカタチ

- ・令和8年度から部活動は完全展開
- ・1種目1チーム化
- ・小中学生の環境整備
総合型クラブとスポ少の組織統合
- ・アフタースクール活動

プラットフォーム構想

- ・横断的な取組が可能な組織体制
- ・多分野の融合

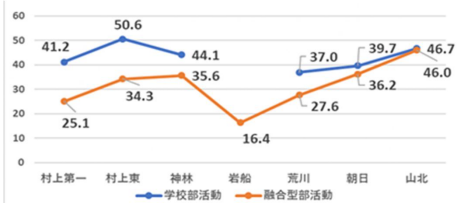
多世代空間

- ・幼、小、中、高、大人、高齢者
- ・子どもたちの自主性
- ・高齢者の社会参加
- ・会費で運営する空間

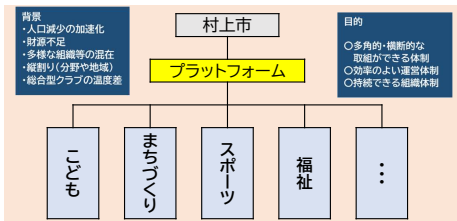


地域展開を契機として

学校部活動と地融合型活動の参加率



プラットフォーム構想



アフタースクール活動

目的	学びの時間の確保 地域クラブに参加しない生徒の活動の保障 文化活動を希望する生徒の保障
体制	教育委員会管理下
活動日・時間	平日週2~3日 30分をめやすとする
内容	学習・文化・吹奏楽・スポーツなど多様な取組とする 生徒のニーズに基づき各校で決定
実施体制	指導者を配置して行う活動 生徒の自主活動を見守る活動
指導	地域の人材の活用
対象者	原則希望制とするが各校で決定

部活動の地域展開を契機として

「誰一人取り残さない」
 新しいカタチを考えます

ご清聴ありがとうございました

遠隔ライブ指導の 有効性と課題

新潟医療福祉大学 鵜瀬 亮一
村上市立山北中学校 当摩 天喜

背景：部活動地域展開「改革実行期間」スタート

【課題】

「働き方改革」「社会構造の変容（少子化・過疎化）」
「指導者確保」「より良質で効率的指導」など

【解決法】

デジタル技術を活用した遠隔指導も推奨されている

【現場の指導者として湧き上がる疑問】

遠隔ライブ指導で・・・

「スポーツ技術は向上するのか？」
「人間性向上は？」
「教員の部活動への負担感は減るのか？」
「離島や山間地域生徒の心に届くのか？」

実証実験の方法

- 対象：村上市立 山北中学校 ※山形県境・山間地域
軟式野球部員 全5名（男性・2年生）
- 期間：週1回 約30分×全5回（約1か月）
@体育館 ※部活動は他にも週4回あり
- 顧問教諭：22歳男性 新任
※大学まで硬式野球部所属
- 遠隔指導者：45歳男性 大学硬式野球部監督
※指導歴18年 監督歴6年
- 指導内容：キャッチボールの基本



顧問教諭への事前アンケート

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
全く思わない どちらでもない 非常にそう思う

	事前
日々の部活動指導を負担に感じていますか？	7
日々部員とのコミュニケーションはうまく取れていると感じていますか？	9
日々の部活動を通じて、部員の技術が向上していると感じていますか？	10
日々の部活動を通じて、部員の人間的な成長を感じていますか？	7
【遠隔指導に対する印象があれば聞かせてください】	
良い点	再現性の低い中学生にとって自分のフォームを確認できるのはとても良い。
懸念される点	対面ではないため、思い通りの指導ができない可能性がある。 「もっとこうしてほしいのに」など、わだかまりが残る可能性がある。

多少の負担感はあるながらも、生徒の技術的・人間的な成長を感じながら、日々の部活指導にあたっている様子。

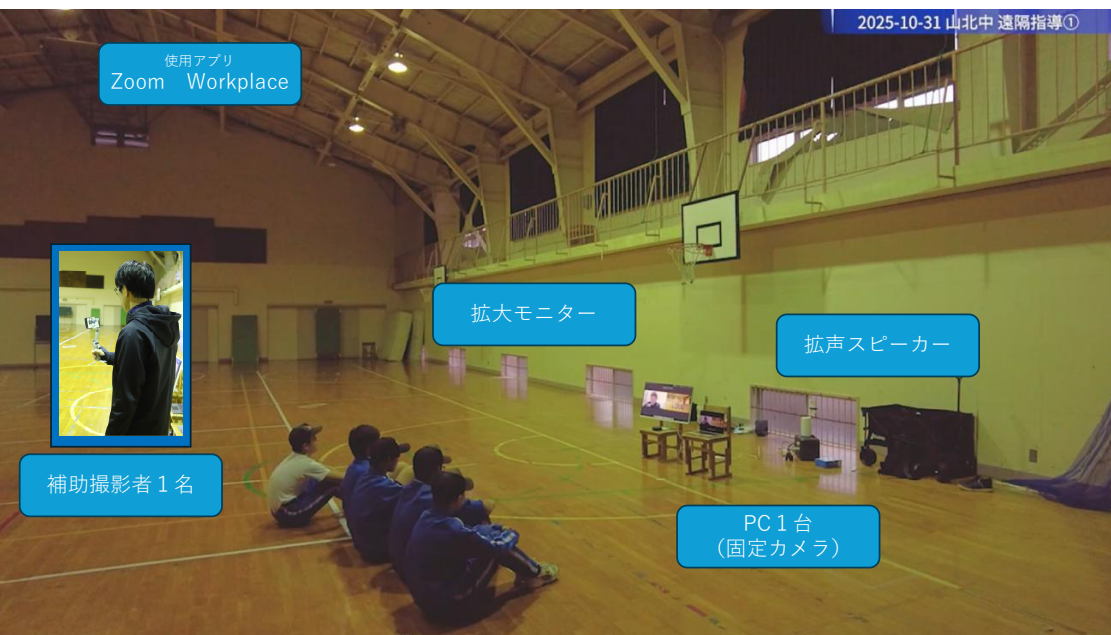
生徒5名への事前アンケート

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
全く思わない どちらでもない 非常に思う

	事前
部活動は楽しいですか？	9.8
指導者とうまくコミュニケーションはとれていますか？	9.6
自分から進んで練習することができていますか？	8.8
部活動を通じて、野球の技術はうまくなってきていますか？	9.6
部活動を通じて、人間的に成長できていますか？	9.8

少人数ながらも、充実した部活動ライフを送っている様子。

遠隔ライブ指導の環境



遠隔ライブ指導の様子

「キャッチボール指導」の全過程

	技術的観点 (約25分)	教育的観点 (約5分)	指導上の工夫や改善点
10月31日	<ul style="list-style-type: none"> グラブの操作方法 ボールの握り方 	<ul style="list-style-type: none"> 道具を大切にすることについて (大学生の取り組み) 	<ul style="list-style-type: none"> 初回はお互い不慣れで見せたい画角を調整するのに時間を要した。
11月7日	<ul style="list-style-type: none"> 怪我をしにくい正しい腕の振り方の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 努力の大切さ (NPB入りした大学生を例に) 	<ul style="list-style-type: none"> 自身のライブ見本ではなく、大学生の動画見本へ変更。 Zoomチャット機能を積極的に利用することを推奨し、24時間いつでも質問できる形式に。
11月14日	<ul style="list-style-type: none"> 正しい腕の振り方を身に付けるドリル習得 	<ul style="list-style-type: none"> どういった選手が野球競技で活躍できるか 	<ul style="list-style-type: none"> 個人指導の時間を増やした。
11月21日	<ul style="list-style-type: none"> 身体の末端を加速させる感覚の習得 (紙鉄砲を用いて) 股関節への乗り方の感覚習得 	<ul style="list-style-type: none"> 体力や根性の大切さ 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に加え、顧問教諭と積極的にコミュニケーションをとるようにした。
11月28日	<ul style="list-style-type: none"> より強く、遠くへ投げるための理論とドリル習得 	<ul style="list-style-type: none"> 時間の大切さ 	

ポイント 学校部活動が担ってきた教育的意義・配慮を継承しつつ、地域展開による新たな価値を創出

生徒との コミュニケーションの様子



効果的

スライドを用いた 指導の様子



あらかじめ準備したスライドを用いることで画角調整時間が短縮された！

効果的

大学生の動画見本を用いた指導の様子



大学生の見本動画や大学生の取り組みを紹介するスライドは食い入るように見ていた！

重要

顧問教諭との連携について

-週1回遠隔指導者の立ち位置-

顧問教諭と遠隔指導者の信頼関係構築
とそれを生徒に示すことで生徒も
「迷い」が生じにくく感じた



遠隔指導後の アンケート結果

顧問教諭への指導後アンケート

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
全く思わない どちらでもない 非常にそう思う

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
週1回の遠隔指導で自身の「気持ち」にゆとりは生まれたか？	7	7	5	5	6
週1回の遠隔指導で自身の「時間（業務）」にゆとりは生まれたか？	<u>2</u>	4	5	3	<u>7</u>
大学（外部）指導者が週1回程度指導するのは良いことか？	<u>4</u>	9	8	8	<u>9</u>
その頻度（週1回）をもっと増やしてほしいか？	8	6	8	8	9
そうなれば、教員の部活動への負担感はより減るか？	8	5	9	8	10
週1回の遠隔指導が入っても技術的な成長は見られるか？	<u>6</u>	9	9	8	<u>10</u>
週1回の遠隔指導が入っても人間的な成長は見られるか？	<u>6</u>	8	7	9	<u>9</u>
遠隔ライブ指導は良い取り組みだと感じるか？	<u>7</u>	9	10	10	<u>10</u>

生徒5名への指導後アンケート

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
全く思わない どちらでもない 非常にそう思う

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
今日の遠隔指導は楽しかったですか？	9.8	10	10	10	10
（遠隔）指導者とうまくコミュニケーションはとれましたか？	10	9.4	9.8	9.8	10
自分から進んで練習することができましたか？	10	9.8	9.8	9.8	10
今日練習したことは自分にちょうどあっていましたか？	10	10	10	10	10
今日の指導の中で技術的に変化したと感ずることがありましたか？	10	10	9.8	9.8	10
今日の指導の中で「あっ、わかった！」や「そうか！」と思ったことがありましたか？	10	9.8	10	10	10

個別指導の成果

B君：投球腕のトップの位置時の肘角度が大きすぎて怪我のリスクがある

A君：投球腕の肘が上がってこないため、下半身からの連動で投げられず、結果「手投げ」になる



B君

A君

まずは顧問教諭に「改善方針」を共有し、納得してもらったうえで指導を行なった。そうしたプロセスを踏んだ結果、顧問教諭も遠隔指導以外の練習日にも同様のアドバイスを繰り返ししてくださった。

B君：肘を支点にボールを回して、トップの位置にボールを収めるリズムをつかもう！

A君：ボールを下まで下ろさずに、まずは投手のショートアームや内野手のスローイングのように「割ったら、そのままトップに入れて」投げてみよう！





B君：トップ時の肘の角度が鋭角になり
肘頭を投球方向に向けやすくなった
結果、腕振りの「前」が大きくなった！

A君：改善の途中ではあるが、
より体全体が連動した投球動作になった！

B君

A君

事前

部活動は楽しいですか？	10
指導者とうまくコミュニケーションはとれていますか？	8
自分から進んで練習することができますか？	4
部活動を通じて、野球の技術はうまくなってきていますか？	9
部活動を通じて、人間的に成長できていますか？	10

A君の事前事後
アンケート比較

事後（全5回平均）

今日の遠隔指導は楽しかったですか？	10
（遠隔）指導者とうまくコミュニケーションはとれましたか？	9.4
自分から進んで練習することができましたか？	10
今日練習したことは自分にちょうどあっていましたか？	10
今日の指導の中で技術的に変化したと感ずることがありましたか？	10
今日の指導の中で「あっ、わかった！」や「そうか！」と思ったことがありましたか？	10

成果と課題

成果（遠隔指導者側）

- ① 遠隔指導者が見本を示すより、スライドや動画を使用した方が、生徒は視聴しやすく、時短にもなり、理解も深まると感じた。特に大学生の見本動画は効果がある。
- ② 「遠隔指導（遠隔指導者）」と「対面指導（顧問教諭）」の「ハイブリッド」な協力指導関係を築くことで遠隔指導も技術向上に貢献できる。
- ③ 教育的観点からの指導も毎回必ず入れたが、技術指導同様に遠隔指導も人間的な成長に貢献できる。
- ④ 山間地域だけでなく、あらゆる年代、競技、競技レベル、同様の地理的・気候的事情を抱える自治体への汎用性もあると感じた。

課題

- ① 遠隔指導者にも本業あり。対応の時期や担当校数に限界がある。
→ 今後は遠隔ライブ指導に加えて、オンデマンド動画指導の有効性を検証。
- ② 1人の生徒と問答を繰り返したり、深く考えさせたりする時間の確保が困難。
→ 「深く考えさせる」「生徒と問答する」を補完するオンデマンド指導動画の制作
- ③ 顧問教諭との情報共有や協力関係を密にするほど、「顧問教諭の負担軽減にならないのでは？」という葛藤が生まれた。
- ④ 音声・映像トラブルがあるとお手上げ。今回は音響の専門家を配置した。
(遠隔指導への生徒からの「課題・不満」のうち87%が音声・映像に関する事だった)

成果 (顧問教諭側)

- ① 中学生は体を動かすことに慣れておらず、再現性が低い。この遠隔指導では、指導していた動画を自分で視聴できるため、生徒の再現性を高めるきっかけになった。
- ② 部活動も「学校教育」の一部であり、部活動でしか得られない人間性の成長があると考え。今回の遠隔指導では技術的な面だけではなく、人間的な面の指導もあり、とても効果的だった。
- ③ 思春期の中学生は説明を素直に聞き入れないことがある。しかし、今回は指導者が実力、実績どちらも持ち合わせていたため、生徒は目を輝かせて部活動に取り組んでいた。このように実力、実績のある方からご指導いただけることも遠隔指導の魅力であると考え。
- ④ 本生徒の中には、小学校時代に特別支援学級に在籍していた生徒が複数名いることから、理解力に乏しい生徒がいる。その生徒は言われただけでは理解が難しい。しかし、遠隔指導では資料をZOOMで画面共有しながらの説明だったため、耳からの情報だけではなく、視覚による情報も得ることができていた。このことから、特別な支援を必要とする生徒にとっても有効な取り組みだと感じた。

▶ブースタイトル

No.	企業/団体名	タイトル
1	アスフィール株式会社	これからの部活動地域展開・地域連携を支える「部活動改革総合支援サービス」
2	一般社団法人NITTAIクラブ	日本体育大学「NITTAI CLUB」
3	公益財団法人スポーツ安全協会	スポーツ安全協会
4	株式会社ユーフォリア	地域クラブ活動のための運営管理アプリSgrum
5	PEOPLE HORIZON株式会社	地域クラブ運営を革新する地域クラブに特化したプラットフォーム
6	公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団	安藤財団コーチングアカデミー
7	株式会社アーシャルデザイン プラスクラス・スポーツ・インキュベーション株式会社	「Master&Coach:未来を育む持続可能な地域クラブ、新潟へ」
8	株式会社hacomono	参加者管理と施設運営のDXを実現する一体型クラブ基盤。
9	近畿日本ツーリスト株式会社	近畿日本ツーリスト 部活動サポートサービス
10	イマチャレ(事務局:エデュシップ株式会社)	部活動改革の課題解決プラットフォーム「イマチャレ」
11	株式会社日本旅行	部活動の地域展開を支える「移動」と「施設管理」のDX支援ソリューション
12	株式会社アルベン	スポーツサポーター制度、地域スポーツ応援割引カードのご案内
13	株式会社Matchbox Technologies	地域クラブ活動指導者・サポーターマッチング・管理システム「にいがたCITYマッチボックス」
14	愛宕商事株式会社	送迎サービスの予約・配車システムおよびサービス導入支援
15	株式会社和光ベンディング	自動販売機で支える、未来のアスリート！！
16	株式会社日本トリム新潟営業所	クラブの選手や保護者に向けた水分補給や栄養管理講義にてサポート
17	放課後デザイン協会	子ども&保護者との「関わり方」相談所(放課後デザイン協会)
18	泉観光バス株式会社	『泉観光バスグループ 地域クラブ活動移動支援』
19	新潟県障害者スポーツ協会	新潟県障害者スポーツ協会・新潟県障がい者スポーツ指導者協議会
20	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター	地域クラブ活動に専門的な医科学サポート導入！ 「スポーツ医科学&ケアコンディショニングサポート」
21	新潟スポーツ医・科学コンソーシアム	部活動地域展開を支える指導者育成の実践モデル ～新潟スポーツ医・科学コンソーシアムによる継続型指導者研修会～
22	新潟リハビリテーション大学	村上市で地域スポーツ活動をサポートする大学「新潟リハビリテーション大学」
23	一般社団法人アスリートサポート新潟	身体の仕組みから育てるアスリートサポート
24	胎内DEERS	アメリカンフットボールチーム胎内DEERS－フラッグフットボール体験－
25	株式会社新潟プロバスケットボール 新潟アルビレックスBBスクール	新潟アルビレックスBBスクール【新たな地域貢献の形】
26	サトウ食品新潟アルビレックスRC	学校教員・クラブ指導者と地域クラブの橋渡し
27	一般社団法人ブカツ・サポート・コンソーシアム	部活動地域展開における制度設計・伴走支援・クラブ運営サポート等のワンストップサービス
28	スポーツデータバンク株式会社	部活動改革のリソース集約型サポートプラットフォーム
29	日本郵政株式会社	日本郵政のスポーツに関する取り組み
30	三井住友海上火災保険株式会社	部活動の地域展開におけるリスク対策について
31	公益財団法人長岡市スポーツ協会	総合運営団体の取り組み。だれもが安心して活動に参加できる仕組みづくり
32	新潟県魚沼市	市教委主導で平日・休日を同時に地域展開する魚沼市の取組
33	新潟県村上市	「行ける」が増えると参加が広がる村上市地域車両活用モデル/ 「楽しさ」から始まる障がいのある子どもたちの展開モデル
34	スポーツ庁地域スポーツクラブ活動アドバイザー事務局	スポーツ庁の地域クラブ活動アドバイザー3名が担当します
35	新潟県佐渡市	子どもたちの「やりたい！」を形に／佐渡市 ～地域資源を活かした多種多様な「エンジョイ型」クラブ～

No. 1～30 ▶ 中会議室201

No.31～36 ▶ メインホールA

▶アンケートフォーム



上記の二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、
アンケートにご回答ください。

▶各種案内

市外市地図



朱鷺メッセ館内マップ



朱鷺メッセランチガイド



新潟駅行バス時刻表

